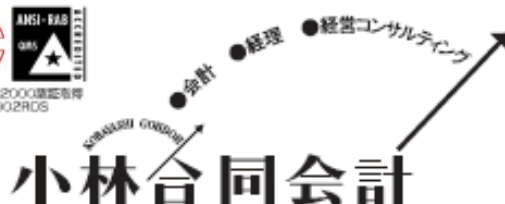




発行責任者 / 小林 政氏

発行日 / 2006年3月1日



小林合同会計

所長税理士 小林政氏 税理士 山野基尚

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

所報タイトル「誠実」は所内で掲げる

平成18年度の目標です。

『 個人 情報 保護 』



平成17年4月1日に個人情報保護法が施行され、個人情報保護に対する関心が高まっています。

当事務所においても、常日頃から、個人情報の取扱いについては細心の注意を払っておりますが、さらなる強化を図るべく、昨年12月より新しいシステムを導入致しました。

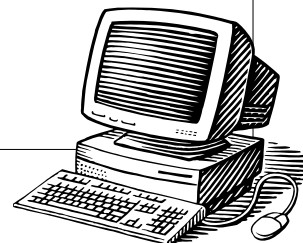
まず、各職員にIDカードを携帯させ、そのIDカードでないとパソコンが起動できないようにしました。もちろん自分のパソコン以外を開くことはできません。

また、IDカードは社員証もかねており、常に携帯することを義務づけておりますので、カードをもっていない人にパソコンを操作される心配がなく、長時間席を離れる場合にはカードを抜き取ることによって、パソコンをロックさせることもできます。

つぎに、各職員のパソコンの操作履歴をサーバに逐一記録させ、不正なアクセスや、情報引出を監視しています。

パソコン操作を監視することによって、未然に情報漏洩を防ぎ、仮に情報の不正引出があったとしても誰が、いつ、何を引き出したか分かる仕組みになっています。

当事務所では、お客様の住所氏名等の情報だけでなく、財産や納税額等といった重要な情報もお預かりしておりますので、これからもお客様の大事な個人情報の保護に努めてまいります。



小林合同会計事務所個人情報保護方針

平成 年 月 日

小林合同会計事務所（以下「当事務所」という。）は、当事務所の事業活動を通じて得た個人情報の保護に努めることを社会的責務と認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

小 林 合 同 会 計 事 務 所
所 長 税 理 士 小 林 政 氏

1. 個人情報の取得について

当事務所は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得致します。

2. 個人情報の利用について

- （１）当事務所は、個人情報を取得の際に示した利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて、利用します。
- （２）当事務所は、個人情報を第三者との間で共同利用し、又は、個人情報の取扱いを第三者に委託する場合には、当該第三者につき厳正な調査を行ったうえ、秘密を保持させるために、適正な監督を行います。

3. 個人情報の第三者提供について

当事務所は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。

4. 個人情報の管理について

- （１）当事務所は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理致します。
- （２）当事務所は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、不正アクセス、コンピュータウィルス等に対する適正な情報セキュリティ対策を講じます。
- （３）当事務所は、税理士法 第 38 条（秘密を守る義務）に基づき、持ち出しや外部への送信等により個人情報を漏えいさせません。

5. 個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について

当事務所は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求がある場合には誠実に対応します。

6. 体 制

当事務所は、職員に対し個人情報の保護及び適正な管理方法についての研修を実施し、日常業務及び退職後における個人情報の適正な取扱いを徹底致します。

7. 個人情報の利用目的

(1) 当事務所の関与先様から委任された税理士業務を行うために必要な範囲で利用します。

(2) (1) の他、当事務所の関連グループである㈱小林合同会計及び東日本総合開発㈱との間で共同利用することがあります。

又、関与先様からご依頼があった場合には、関与先様から頂いた個人情報を司法書士、弁護士等業務提携先へ提供いたします。

関連グループにおける個人情報の利用範囲は以下のとおりです。

- ① ㈱小林合同会計が行う電算業務
- ② 東日本総合開発㈱が行う保険代理業

以 上

私の履歴書

白井 茂

新潟県の寺泊町(現在、平成の大合併で長岡市に編入される)に生を受け、貧商の三人兄弟の末の長男として高校生まで寺泊町で生活しておりました。青少年期には「文武両道の明朗快活なスポーツマンとして、将来を嘱望されていた」と言いたいところですが、経済力のない家庭で育つ中、他者に目立つような言動をしないおとなしい若者であったとふりかえります。

ただ、現在に繋がる資質として、なかなかあきらめない粘着質な性格が当時に育った気がしております。例としては、高校時代、グラウンドホッケー部に所属しておりましたが、理由はホッケー部が県内に二チームしかなくインターハイ、国体に出場することが容易で、旅行(遠征)が無償で行けることでした。一回勝てば出場という状況です。まんまと高一、高三のときに東京・九州と目的を果たしました。また、大学進学時には、到底、進学費用の工面は不可能でしたので、就職担当の先生(就職希望者はほとんど居らず閑であった)に幾度か相談し、「昼間に大学へ行けて、学費、生活資金を確保できる就職先」を探して戴き、その条件をクリアしたイトーヨーカドーの奨学生(社員の籍を持ち賞与もでた)として、昼は学生、夜と日曜祭日は社会人としての東京生活がスタートした次第です。

その後の太田会計事務所、現在の小林合同会計事務所における業績、貢献についての評価(自分としては相当に赤顔ものです。)は顧問先、所長にお任せするとして、ただ、物事にこだわるあきらめない性癖は仕事に多少の寄与はしたと自負しています。

現在は齢50を数え、妻一人(当然)、今春、社会人になる長男、大学受験の次男と住宅ローンに喘ぎながらも、小市民的な生活を送っています。

以上、拙い内容ですが、「偽装疑惑がでない」事実に基づき披瀝させていただきました。

追伸① 我が家には、猫と犬も一匹ずついます。

追伸② 海外への出張要請につきましてはいつでも、どこでもお受けいたします。

(但し、弊所所長の許可を得られた限りに於いて)

いんていし